

**平成20年12月期 第1四半期
決算説明資料**

2008年5月

昭和シェル石油



注意事項

この資料には、当社グループ（当社及び連結子会社）の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。

原油価格と為替レート

		2007年度実績	2007年度 1-3月実績	2008年度 1-3月実績
ドバイ原油価格	(USドル/バレル)	68.3	55.5	91.3
為替レート	(¥/USドル)	117.9	119.4	105.2

連結損益計算書ハイライト

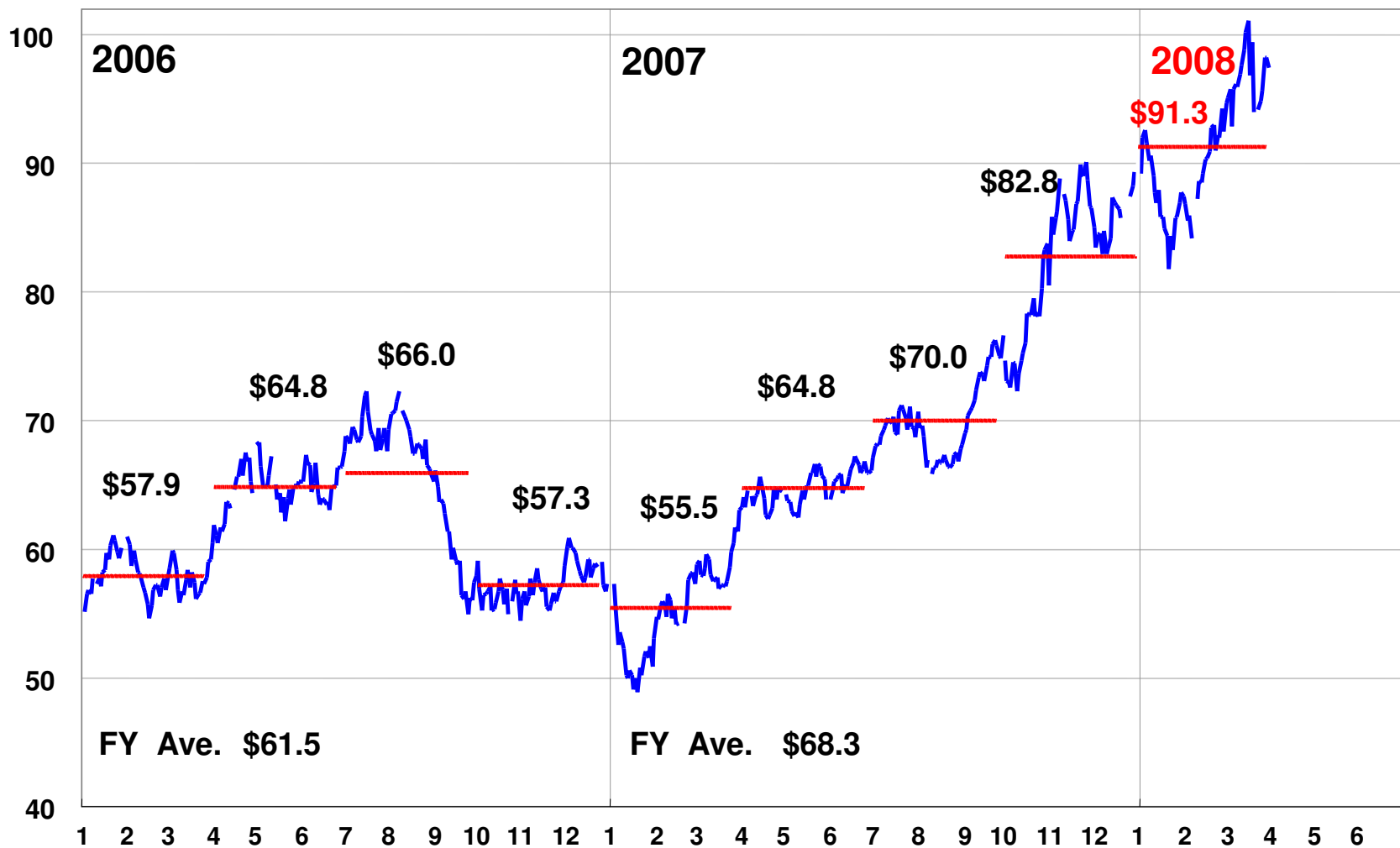
		2007年度 1-3月実績	2008年度 1-3月実績	増減	前年同期比
売上高	百万円	728,205	810,509	+ 82,303	+11.3%
営業利益	百万円	8,665	16,613	+ 7,947	+91.7%
経常利益	百万円	9,113	18,231	+ 9,118	+100.1%
当期純利益	百万円	5,009	10,976	+ 5,967	+119.1%
※CCSベース営業利益	百万円	15,888	3,468	- 12,420	-78.2%
※CCSベース経常利益	百万円	16,336	5,086	- 11,249	-68.9%

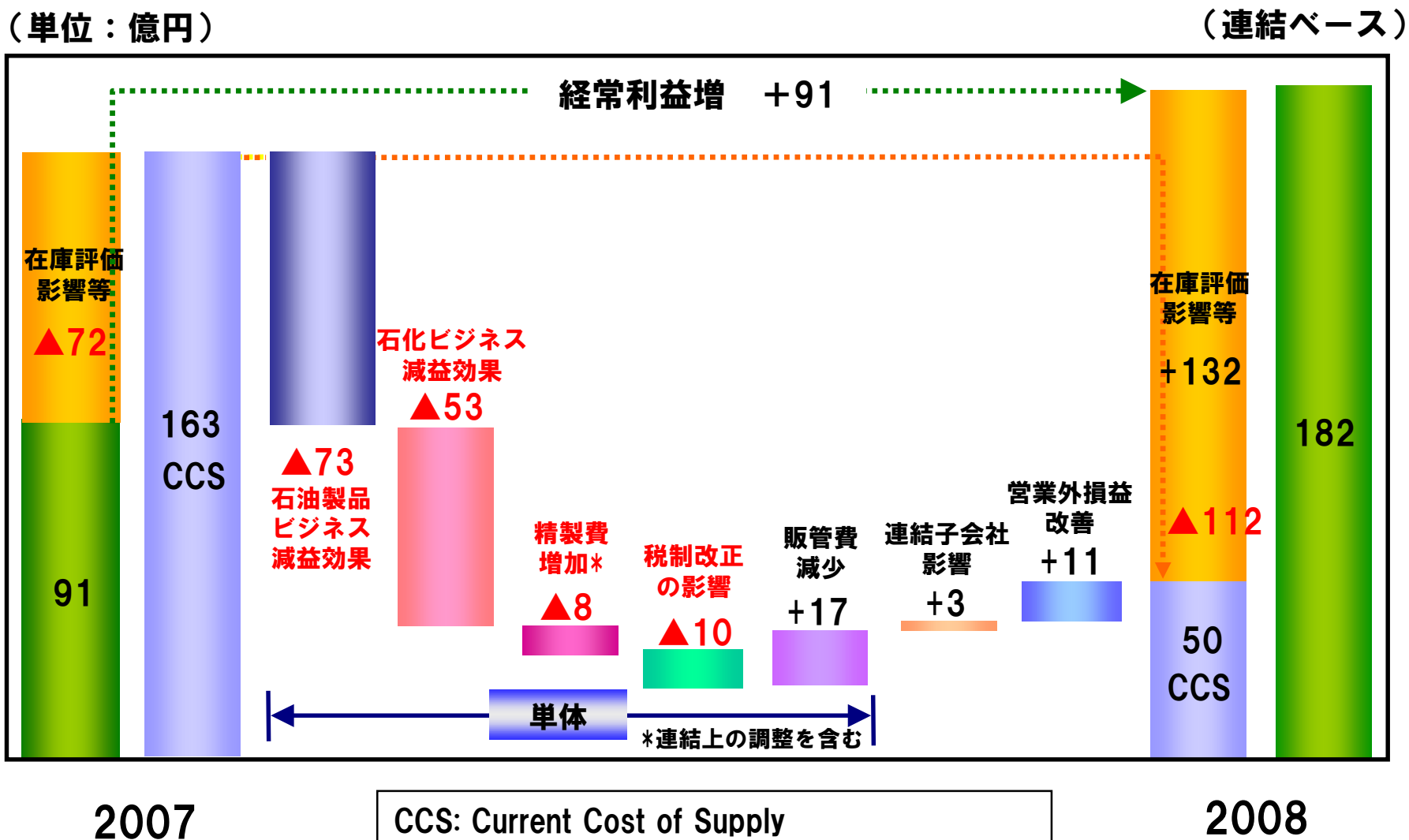
【注】 カレント・コスト・オブ・サブライ (CCS) ベースの収益：在庫評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

- 前年同期比+11.3%の増収、+100.1%の増益（経常利益）となったが、在庫評価影響を除く実質経常利益は▲68.9%の減益
- ガソリンは、消費抑制・省燃費志向の高まりにより前年同期比減少となったが、国内需給に見合う供給を行いつつ、軽油を中心に輸出量を拡大したため、販売数量は前年同期比並み
- 原油高騰に伴う未転嫁ロスや市況低迷により、石油製品ビジネス、石化ビジネスともに前年同期と比較し、マージンが悪化
- 07年8月よりシェルトレーディングと事業一体化のために移管したトレーディング事業の売上高は、前年同期比▲916億円減少したが、損益面への影響は軽微

ドバイ原油価格の推移

USドル/バレル





CCS: Current Cost of Supply
 たな卸資産の在庫評価の影響を除いたもの
 *連結上の調整を含む

原油価格と為替レート的前提

		2007年度実績		2008年度想定			
			1-3月実績	4-6月想定	上半期想定	7-12月想定	通期想定
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	68.3	91.3	94.7	93.0	93.0	93.0
為替レート	(¥/USD)	117.9	105.2	100.0	102.6	102.0	102.3

業績予想

◆中間期

単位：百万円

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想中間純利益
前回発表予想	1,490,000	30,000	31,000	18,000
今回修正予想	1,610,000	34,000	35,000	20,000
増減額	120,000	4,000	4,000	2,000
増減率	8.1%	13.3%	12.9%	11.1%

◆通期

単位：百万円

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
前回発表予想	2,930,000	58,000	60,000	35,000
今回修正予想	3,140,000	58,000	60,000	35,000
増減額	210,000	-	-	-
増減率	7.2%	-	-	-

※ 通期のCCSベース経常利益は、500億円となる見込みです。